

20210 コマ目の記録

2021 年 6 月 14 日(月)~20 日(日)

栽培中の植物

- マリーゴールド
- シソ
- バジル
- センニチコウ
- コリウス
- ジニア
- ペチュニア
- サルビア ファリナセア
- サルビア コクネシア
- ヒマワリ
- イタリアンパセリ
-

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
6/14(月) 8:20	晴れ	気温(30℃)	● 灌水 ● ジニアの底面吸水について ➢ 水の流れ(流入場所からすぐ奥に広がること)が重要 ➢ 底面給水用シートの丈が長いと水が奥まで行き渡る前に下に落ちる→十分吸水できない苗ができてしまう
		最高(30℃)	
		最低(20℃)	
6/15(火) 8:20	晴れ	気温(26℃)	● 灌水(底面給水用シートの丈は短くした) ● ジニアが大き過ぎる また苗の数も多いため、風が通らない ➢ 病害虫の被害に遭いやすい ➢ 花卉の色が掠れているのは、アザミウマの吸汁が原因 ➢ 掠れている花は切り、草姿共に整った苗にすると良い ● ペチュニアにうどんこ病発生のためロハビ散布 ● 分区園 ナスの三本仕立て(一番花すぐ下の花 2 つを誘引)
		最高(38℃)	
		最低(20℃)	
6/16(水) 8:20	雨	気温(21℃)	● 灌水 ● 全てのジニアの切り戻し ➢ アブラムシだらけのものは葉ごと取る ➢ 新芽(わき芽)を残しながら、草姿を整える
		最高(32℃)	
		最低(21℃)	
6/17(木) 8:30	晴れ	気温(30℃)	● ジニアについて、底面給水だけだと個体肥料が溶けないため、時々ジョウロで上から灌水する ● ペチュニアに再度うどんこ病発生 ➢ ロハビ散布(うどん粉病の胞子を完全にコーティングできるよう、うどん粉病が見えている葉では、葉がびしょびしょになるまでかける) ➢ 一週間たっても改善されない場合は葉ごと処分する ● 分区園のエダマメにマルカメムシが大量発生。 ➢ マルカメムシは莢の汁を吸うことはないため 1 株あたり 10 匹程度なら特に害はない。多発するようなら生育に問題が出てくる。今後観察し、薬剤散布も考える。
		最高(32℃)	
		最低(20℃)	
6/18(金)	曇りのち	気温(22.5℃)	● 灌水

8:15	雨	最高(33℃)	● マリーゴールドにカイガラムシを発見、ナメクジの食害を発見 ➢ カイガラムシは貝殻状になってしまうと、薬剤が効かなくなるので、貝殻状になる前に物理的に(手で)取る ➢ ナメクジはナメトリンで対策 ● 園芸療法ガーデンの斜面側の除草
		最低(20.5℃)	
6/19(土) 8:35	雨	気温(21℃)	● マリーゴールドの一部灌水、ジニアは上から灌水 ● カイガラムシの付着したマリーゴールドの葉を処分 ● 分区園のほとんどのピーマンが雨によって倒れたため新しく支柱を設置
		最高(33℃)	
		最低(20℃)	
6/20(日) 8:30	曇りのち 晴れ	気温(23℃)	● ジニア 底面吸水 ● ペチュニア、マリーゴールド、ヒマワリの灌水 ● 13時 遮光カーテンを閉める
		最高(28℃)	
		最低(20℃)	

写真



6/14 ジニアの様子
風通しが悪そう



6/14 花弁の色が掠
れているため切り取る



6/15 ペチュニアに
ロハピを散布



6/15 分区園
ナスの三本仕立て



6/16 ジニア
切り戻し前



切り戻し後



6/17 うどんこ病が
再発生したペチュニア



6/17 エダマメの葉に
付くマルカメムシ



6/17 分区園キュウリ
収穫まであと少し



6/18 ナメクジ食害に遭
ったマリーゴールドの葉



6/19 雨で倒れたピー
マン。支柱立て後は復活



6/20 病害虫のない
マリーゴールドもいます